

新たに入会された皆さん
賛助会員

・森下 昭博
・新堂 道子
・高橋 章子
・特活 親子会 エルフ
・特活 武庫が丘
まちづくりビューロー

寄付をいただいた皆さん

・山口 史

(順不同、敬称略 期間:2018年10月1日~2018年12月10日まで)

♡
ご支援ありがとうございました。

(認定) 宝塚 NPO センター 会員募集・継続のお願い

宝塚 NPO センターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

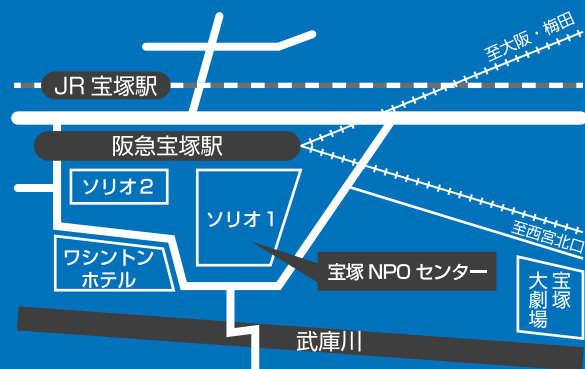
※認定 NPO 法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体正会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
10,000 円		30,000 円	3,000 円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱UFJ	
支店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
カナ	トクテイヒエイリ タカラツカエヌビーオーセンター	タカラツカエヌビーオーセンター
口座名義	(特) 宝塚 NPO センター	宝塚 NPO センター



(認定) 宝塚 NPO センター

〒665-0845
兵庫県 宝塚市 栄町 2-1-1
ソリオ1-3F
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799
E-mail: zukanpo@hnpo.net
URL: http://hnpo.net/

発行人: 牧里 每治 編集人: 中山 光子

宝塚 NPO センター ニュース

TAKARAZUKA
NPO CENTER
NEWS

市民の手で市民活動を支える

97 このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2018.12

空き家対策はまちづくり。未然防止策は、
家族で家の将来を話し合っておくこと。

宝塚 NPO センターは
メールマガジンを月 1 回配信しています

zukanpo@hnpo.net

上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています

http://hnpo.net/support/
認定 NPO 法人に寄付をすると税金が戻ってきます

NPO 法人
兵庫空き家相談センター 理事長 三坂 友章

●協働の場づくり

<自主事業>

「SDGsってなんだろう? 〜ちょっとだけ真剣にカードゲームで2030年の未来を考えてみよう!〜」を開催

寄稿しました!



ボランティアスタッフ
平尾直人

最近耳にすることが増えてきているSDGs(「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略)。宝塚NPOセンターでも11月18日(日)にカードゲームを通じてSDGsとはどういったものか知り、2030年の未来について考えるワークショップを開催しました。

未来に向けてのテーマということもあり、小学生以下のお子さんからお孫さんがいらっしゃる方まで、また市外からも多くの方々にご参加頂くことができました。

カードゲームは1グループ6名に分かれて進めていきましたが、参加者同士で自然と交流できる内容となっており、大いに盛り上がりました。環境破壊やエネルギー問題などについて、日々メディアを通じて目や耳に入りますが、普段の生活の中での様々な行いが意外とあらゆる問題に繋がっており、時には地球規模で悪い影響を与えていることがあるということを知らなかった方々も多かったのではないのでしょうか。

SDGsには「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任 つかう責任」などの17のテーマと169のターゲットがあります。来年度は、SDGsの考え方を日々の暮らしや事業活動の中に実際に落とし込んでいく機会となるような企画を開催していければと考えています。



「貧困をなくそう」をはじめ
17の目標が掲げられています



お子さんからシニアまでご参加。
盛り上がりました!



企画運営には社会人や元インターンの
学生ボランティアが関わりました

●仕事を通じた社会参加づくり

<自主事業>

就労希望する若者が接客販売に挑戦!

就労に向けた不安や課題を抱える若者を支援する、宝塚地域若者サポートステーション(サポステ)の利用者のべ17名が、きずなの家KaRuTaで開催された「タイ直輸入セラドン陶器<特別販売会>」の就労体験をしました!

11月10日(土)の事前準備では、今回の就労トレーニングの為にご寄付いただいたセラドン陶器を開梱し、棚卸・値付を行い商品準備を完了。販売前日は全員で商品を店頭まで運び、商品陳列・ポップカードと看板作成など、夕方遅くまで開店準備に取り組みました。そして25日(日)の販売当日には、午前11時からお客さまをお迎えし接客販売に挑戦。接客経験がない中ぎこちなさはあるものの、ピラ配り・接客・金銭授受・商品包装・商品お渡しなどの業務を、最後までやり遂げることができました。あとの振り返りで、「はじめての経験でしたが楽しかった!」、「接客は怖かったけれど、優しいお客さまで安心した!」など、充実感に満ちた内容の感想が寄せられました。

成果としては、56名のお客さまが200点近くの商品をお買い上げ下さいました。今回の収益金は、全てサポステ利用者が職場体験する時の交通費として、有効に使わせていただきます。ご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。



全員で工夫しながら売場作りに挑戦!



当日の開店前入り口の様子



開店!接客販売にチャレンジ!

コラム

「空き家対策は連携が大事である」

NPO法人兵庫空き家相談センターを設立し、3年が経過しました。設立した当初は、行政と連携し、弁護士、司法書士、税理士、土地家屋調査士等の法律専門家が連携すれば、相続等の課題も解決でき、空き家問題は解決していくと思っていました。しかし業務を進める上で、家財等をどうするか?解体する場合どうするか?不動産(負資産?)を売却するにはどうすればいいのか?という相談が増え、実務に携わっている人たちが必要だと思いました。しかし、それでもまだ解決が難しいと分かってきました。

空き家は、新築住宅や中古住宅と異なり、精神的な部分が想像以上に大きいものだと分かってきました。思い出いっぱいの家や家財等の整理ができない。所有者が思う売却したい価格と現実の価格の乖離が大きい。地域の人や家族の目があって処分できない。こうした精神面を埋めていくには、親が元気なうちに家族で話し合うことが必要であることをセミナーや個別相談を通じて周知していくことが大事だと思います。

また、地域の人たちにとって景観や防犯、防災上の課題があることを理解していただくこと。空き家や空き家があった土地を有効活用することで、地域の活性化が生まれます。これらの活動は、行政だけでもできず、民間事業者だけでもできません。行政、民間事業者、住民(自治会)、マスコミ等が連携していくことが大事です。一人一人の意識の高まりが、空き家を防ぐことになるものと思います。

NPO法人兵庫空き家相談センター 理事長 三坂友章(みさかともあき)

取材に行ってきました!!

「空き家対策はまちづくり」

現在、7戸に1戸が空き家であると推計されています。空き家になると景観の悪化や倒壊、漏電火災、空き巣被害などの問題が起きるため、大きな社会課題になっています。今回は、現代の課題 空き家問題に取り組むNPO法人兵庫空き家相談センター 理事長の三坂友章さんにお話を伺いました。

「設立のきっかけは友人からの相談」

空き家相談センター設立のきっかけは、友人からの相談。「母親が10年前に亡くなり、実家を放置していたため、壁が崩れ危険な状態になってきたから処分したい」10年間放置していたため、2次相続が発生し更に相続人が増え手に負えなくなってしまったとのこと。三坂理事長は、親戚づきあいも希薄になるこれからの時代、土業が一つにまとまり空き家問題に取り組まないと解決しないと考え、友人に呼びかけ団体を立ち上げられました。



壁が崩れた空き家

「各主体が連携して空き家対策を」

「空き家対策はまちづくり。行政、民間事業者、住民が皆で連携しなければ解決できない」と話す三坂さん。空き家対策セミナー開催は行政の協力を得て広報し、満席になることも多く、市民の関心の高さが伺えます。そのほかにも、専門家への橋渡し・空き家対策の助言をするボランティアの養成や、兵庫県内のいくつかの地域で地域団体が空き家・空き地を活用して行う移住促進・地域活性化の取り組みにも協力。兵庫県内で徐々に活動地域を拡大され、最近では他府県で空き家問題に取り組む団体の立ち上げ支援にも関わっておられます。



空き家対策セミナーには多くの人が参加

三坂さんのお話からは、空き家問題に多様な主体と協働で取り組み、空き家の有効活用や町並み保全を通して社会課題を解決し、より住みよいまちに繋げていくのだという、熱い思いと使命感を感じました。

NPO法人兵庫空き家相談センター 連絡先 TEL: 0797-81-3236
E-Mail: info@h-akiya.jp
Web: http://h-akiya.jp/
Facebook: https://www.facebook.com/hyogoakiya/